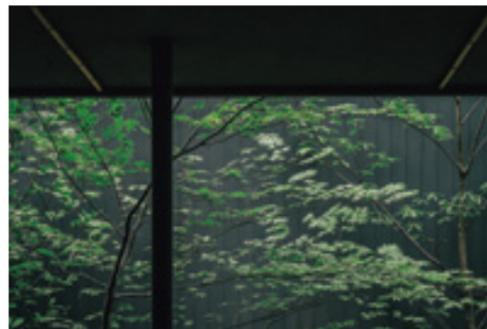




Facade

美術館を思わせる
シンプルでモダンな外観。
みずみずしく枝を伸ばす木々や
揺れる季節の草花を引き立て
美しいキャンパスとなる。



Garden

歩くのが楽しくなるアプローチ
和の趣漂う坪庭
里山を切り取ったメインガーデン。
種々の植物に彩られた庭が
五感を豊かに刺激する。



No. **11**
Model house Report.

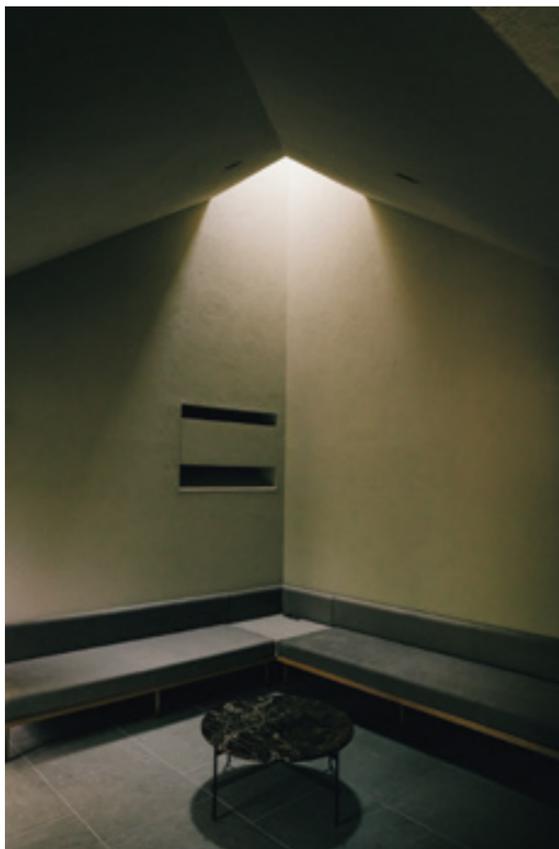
ホテルのように暮らす家

旅先のホテルや旅館で感じる
心が解き放たれるような感覚を
日常に融合させた、大人のための住まい。
本当の心地よさとは何か。
そのヒントは、人間本来の感覚にありました。

Builder:
小山木材
Note:
Like a hotel
モデルハウス
長野市松代

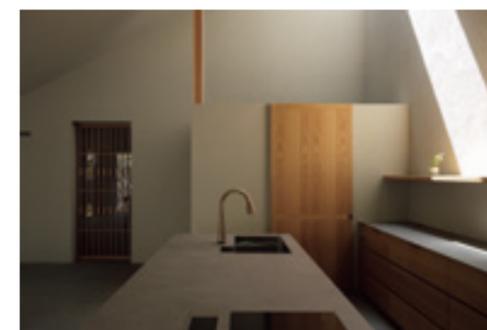
Living

「囲まれる心地よさ」を教える静謐なリビング。
ダイニングキッチンと角度をつけてレイアウトし
食事の場とくつろぎの場を分けたプランに。
庭を眺めて語らう、心地よい居場所が生まれた。



Dining & Kitchen

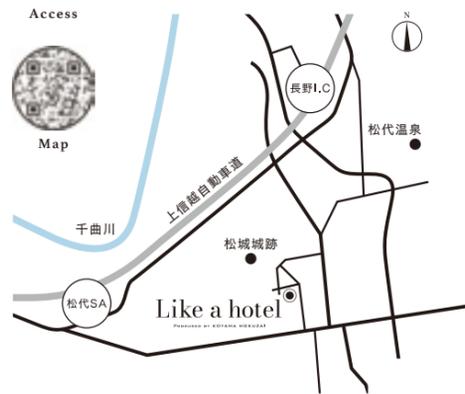
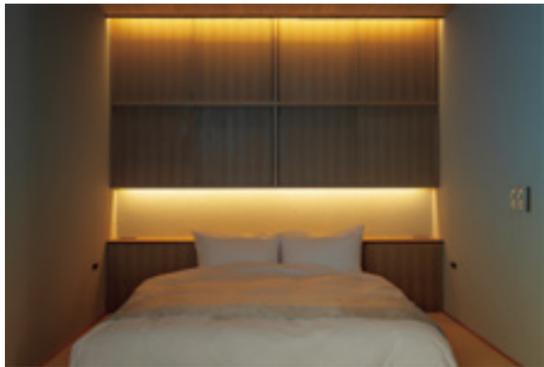
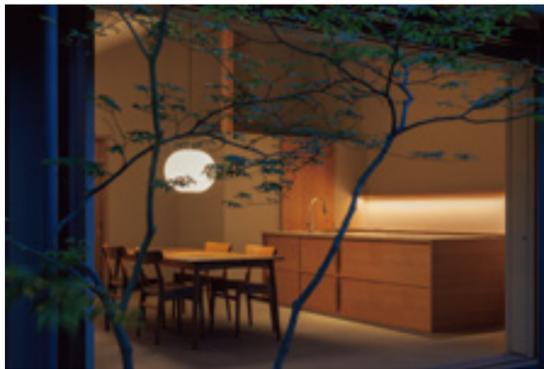
外からはうかがいしれないダイナミックな空間。
塗り壁で仕上げた幾何学的な造形の天井が
陰影の美しさを伝えてくれる。
家具のようなキッチンを空間の主役に。



人の本能と普遍的な感覚を
デザインに落とし込んだ、
誰もが心地よさを感じる空間

木々に包まれるアプローチを
抜けて室内に入ると、そこにあ
るのは周囲のざわめきから守ら
れた静謐な空間。傾斜する天井
にトップライトからの光が美し
い陰影を描き、大きな窓が庭を
絵画のように切り取る。どこか
非日常を感じる住まいは、大人

のくつろぎに似合う場所です。
長野・松代で三代にわたり実
直な家づくりを続ける小山人材
によるプロジェクト「Like
a hotel」は、「ホテルのよ
うに暮らす家」がコンセプト。
それを体現するモデルハウスは、
静謐な空間づくりに長けた建築
家、野趣あふれる植物と建築を
融合させる造園家、そして用と
美を兼ね備える家具職人という
3人のプロフェッショナルを招
いて完成しました。



A_敷地内に大小の庭を点在させ、どこにいても植物の潤いや光を感じられる設計に。 B_和室もモダンな印象。外から直接アクセスできる動線で、ゲストを招く場としても便利。 C_コンパクトなワークスペースは格子の引き戸と造作家具で端正な空間に。 D_大きな窓から光が注ぐ洗面室。 E_夕暮れ時のダイニング。象徴的なペンダントライトと間接照明がホテルのような雰囲気演出。 F_2階の寝室。間接照明が造作家具の木目を美しく浮かび上がらせる。 G_外から室内をうかがい知れない設計により、心から落ち着ける住まいに。モダンな外壁が木々のシルエットを引き立てる。



大切にしたのはほどよい非日常感、ホテルのように誰もが心地よさを感じる空間設計。デザインの軸としたのは、人が本能的にもつ習性や普遍的な感覚です。室内からあえて外が見えないようにしたのは、私たちの祖先が洞窟で暮らし始めたように、人は壁や天井で守られる感覚を

本能で求めるため。一方でダイニングやリビングは天井を高く設計し、庭を眺めるワイドな開口もあいまって絶妙な開放感が生まれています。光の採り入れ方も印象的。「暗い所より明るい方に視線が向かう」という人の習性を生かし、玄関はあえて光を絞ることです。

の先のダイニングに視線を向かわせ、空間を伸びやかに見せます。朝キッチンに立つと、東向きトップライトから差し込む光で前向きな気持ちに。ダイニングテーブルから眺める南向きの大開口が、光や温度の移ろいを伝えます。庭はあえて塀で囲んで外を見せないことで静謐さを生

み、同時に塀が背景となつて、植物を美しく引き立てています。室内の素材や家具は、視覚的な美しさだけでなく「触れる心地よさ」にこだわり、無垢材や塗り壁材、経年変化する真鍮などをミックス。暮らしのなかで満たされる五感の心地よさが、住まう喜びを高めています。

